

今月の表紙「田植えの伝承」(撮影：谷川 秀嗣 様) 第12回 未来に伝えたい農業・農村の風景フォトコンテスト入選作品

CONTENTS

- 坂本哲志農林水産大臣へ緊急要請
- 岸田総理へ旬の熊本県産農畜産物を贈呈
- 藤木しんや活動報告
- 参議院議員 藤木しんや氏コラム
- 参議院議員 山田としお氏コラム
- JA女性 想いをひとつにかなえよう✿
- 中央会・連合会からのお知らせ



あぜみち

文部科学省は、令和7年度から中学校で使われる教科書の検定結果を公表した。QRコード(2次元コード)を学習用端末で読み取って利用できるデジタル教材が大幅に増加した。全小中学生に配布した1人1台の学習用端末の活用を前提とした教科書づくりが加速している。

今回合格した教科書100点のうち97点にQRコードが掲載された。発音チェック用のリスニング教材や会話の手本動画、意見を書き込むシートに誘導するなどが目立つ。生徒がこうしたコンテンツを自ら選び学習する方法は課題を発見し解決する主体的な学びにつながる。

文科省が令和5年4月に実施した調査によると、学習用端末を「ほぼ毎日活用している」と答えた中学校には、80%を超える県がある一方、4割を下回る県もある。

教科書検定が目指しているものは、①教育水準の維持向上、②教育の機会均等の保障、③適正な教育内容の維持、④教育の中立性の確保の4点である。

農家の教科書って何だろう。今、国会で議論が始まっている「食料・農業・農村基本法」が大きな意味での教科書ではないだろうか。この改正案が成立すると、やっと詳細の検討が始まる。国会では食料自給率を現在の目標45%から50%へ引き上げさらに上を目指すべきとの意見も出ている。

岸田首相は「食料自給率については、次期食料・農業・農村基本計画を策定する中で、適切な目標を設定する」と述べている。

さて、私達農政運動者にも教科書的なものがある。それが「選挙運動 ガイドブック」(全国農政連)である。選挙に取り組むための基本的なことが解説とQ&A方式で掲載されている。県知事選挙は喜びのうちに終わったが、今後も衆議院選挙や来年7月には参議院選挙が控えている。時間のある時に読をお願いしたい。

坂本哲志農林水産大臣へ緊急要請

〜2024年農畜産物輸送問題並びに 燃油価格高騰等に関する緊急要請を行う〜

JAGグループ熊本と熊本県農業者政治連盟は、4月15日、坂本哲志農林水産大臣を農林水産省に訪ね、農畜産物輸送への影響が懸念される2024年輸送問題への対応や燃油価格高騰等に直面する農家の支援を求める緊急要請を行いました。

不安定な世界情勢等により、食料、エネルギーや原材料等の調達コストの上昇による生産資材や飼料、燃料等の価格高騰はわが国農業生産の現場にも大きな影響を与えている中、トラック運転手の残業時間の上限が設定されたことから、農畜産物の輸送をトラックに頼っている本県生産現場では、今後さらなる輸送経費上昇への懸念が高まっています。

また、長引く燃油価格の高止まりは、経営費に占める燃料費の割合が高い施設園芸へ大きな影響を及ぼしており、施設園芸セーフティーネット事業の発動基準価格の引き上げにより、補填金額が減少することが予想されます。全国有数の施設園芸を有する本県農業にとつては、今後の産地形成にも影響を及ぼすことが懸念されるため、新たな支援を講じること求めました。

要請書を手渡したJA熊本中央会の宮本隆幸会長は「農畜産物の2024年輸送問題による輸送コストの上昇やトラックドライバー不足による遠隔地への輸送に係る支障等が懸念される。また、長期化する燃油価格の高止まりは、施設園芸に大きな影響を及ぼし、営農継続の危機

が更に深刻化している。」と訴えました。要請を受けた坂本哲志農林水産大臣は消費地から遠い産地の輸送費や燃料価格高騰の深刻さに理解を示し、「非常に深刻な問題だ。しっかりと対応を検討していきたい」と応えました。

要請書は、県選出の国会議員（木原稔議員、西野太亮議員、金子恭之議員、松村祥史議員、馬場成志議員、藤木眞也議員）にも要請しました。

緊急要請の内容

1. 2024年農畜産物輸送問題に係る施策の継続と十分な予算確保
2. 燃油価格高騰対策における施設園芸農業者の影響緩和対策としての特別補填等の新たな支援スキームの構築



▶坂本農水大臣に要請書を手渡すJAGグループ熊本の代表者

▶県選出の国会議員に要請書を手渡したJAGグループ熊本の代表者

岸田総理へ旬の熊本県産農畜産物を贈呈！

JAGグループ熊本の代表は、4月15日、岸田文雄総理大臣を首相官邸に訪ね、旬の熊本県産農畜産物を手渡しました。

農畜産物の贈呈に当たりJA熊本中央会の宮本隆幸会長は、「熊本は豊かな地下水に恵まれ、米・野菜・果樹・畜産など、多種多様な農業生産を行っていることが特徴。本日は、「スイカ」や「デコポン」など、旬の県産農畜産物をご賞味いただきたい」と挨拶しました。

会場には、首相官邸へ初訪問の熊本県の営業部長くまモンも参加し会場を盛り上げました。

全国トップの生産量を誇るスイカとデコポンを試食した岸田総理は「熊本は食材の宝庫だと聞いている。スイカはしゃきしゃきと歯応えが良く、デコポンも酸味が抑えられて食べやすい」と笑顔を見せました。

岸田総理は発生から8年となった熊本地震に触れ、「大きな地震を乗り越え、素晴らしい産品を作ってくられたことに

心から敬意を表する」との賛辞を述べられました。

◎贈呈品一覧（各連合会提供）

- ① 経済連：トマト、ミニトマト、ナス、スイカ、メロン、和王（黒毛和種）くまさんの輝き（お米）
- ② 果実連：デコポン、ジューシー（みかんジューズ）
- ③ 酪連：しし大阿蘇牛乳
- ④ 畜連：あか牛（褐毛和種）



▲岸田総理に県産農畜産物を手渡すJAGグループ熊本の関係者（首相官邸ホームページより）



▲橋本果実連会長よりデコポンの説明を受け試食する岸田総理



▲贈呈したスイカを試食する岸田総理 右は官邸を初訪問したくまモン

参議院議員

Fujiki Shinya
activity report

藤木しんや

農家の声を
国政に!



活動報告

4つのVision

- ① 生産現場からの声を国政に届け、実現します
- ② 食料安全保障の強化の実現を目指します
- ③ 中小・家族経営、中山間地農業への更なる理解と支援の拡充に取り組みます
- ④ 地域の拠り所であるJAの取組を後押しします

参議院議員2期目(平成28年7月初当選)
藤木しんやプロフィール

【自由民主党役職】

農林部会長代理
農林部畜産・酪農対策委員会事務局次長
参議院自由民主党副幹事長

【所属委員会(参議院)】

農林水産委員会
議院運営委員会
災害対策特別委員会
憲法審査会

【これまでの主な役職等】

農林水産大臣政務官(2期)
参議院自由民主党 副幹事長
自由民主党 農林部会 副部会長
参議院自由民主党 国対副委員長
東日本大震災復興特別委員会 理事



農家・農業の未来のため全力で頑張ります



JAグループ熊本による岸田総理への
県産農畜産物の贈呈(06.4.15)



自民党林政対策委員会への出席
(06.4.12)



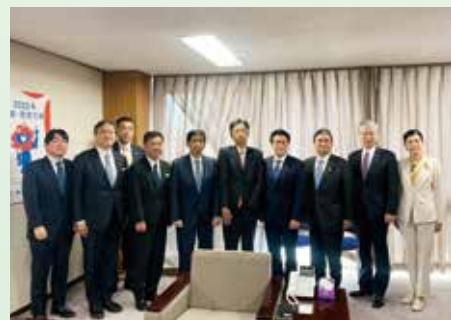
全国農政連顧問・東野ひでき氏と
福岡のJAを訪問(06.4.6)



参議院党副幹事長として令和6年度予算決定
にかかる関係者への挨拶回り(06.3.28)



熊本県酪政連からの要請(06.3.12)



木村熊本県知事候補(挨拶時点)と
挨拶回り(06.4.2)

全国農政連推薦・農政連公認
参議院議員藤木しんやの

永田町でも百姓宣言

【通常国会での法案等の審議】

第213回通常国会における各法案等の審議がはじまっています。農林水産分野では、「食料・農業・農村基本法改正法案」をはじめ、6本の法案が提出されており、衆議院での審議がすすみ、参議院農林水産委員会でも各法案の審議が始まりました。4月5日には、1本法案(特定農産加工業経営改善臨時措置法案)が参議院本会議で可決・成立しました。

いよいよ4月19日には、「食料・農業・農村基本法改正法案」が衆議院を通過し、参議院での審議が始まることも、5月連休明け以降、農林水産委員会での議論が本格化する見込みです。私が、参議院議員に当選させていたから、8年目となりますが、当初より継続的に訴えてきたのが「食料安全保障の確立」の重要性であり、それが今回の基本法改正法案の核であります。法案成立に向けて、全力で取り組んでまいります。

また、本通常国会から、参議院災害対策特別



▲4月3日参議院災害対策特別委員会

別委員会の委員を拜命致しました。4月3日の委員会を皮切りに、今後、災害対策の基本施策および能登半島地震をはじめ頻発している自然災害への対応等について審議が進められていきますので、私もしっかりと審議に参加していきます。

【自民党の農林関連国会等に精力的に参加】

通常国会の期間中のため、自民党の国会も数多く開催されています。私は、自民党農林部会長代理として、農林関連の各国会に精力的に参加し、発言させていただいております。自民党では、その時々的重要課題について、常に活発な議論を行い、政策に「反映」しており、私もしっかりと参加して、意見反映に努めてまいります。

- 「4月上旬に参加した主な自民党の国会等」
- 4月2日・12日：林政対策委員会
- 4月3日：トラック輸送振興議員連盟総会
- 4月3日・11日：農産物輸出促進対策委員会
- 4月4日・11日：食料産業政策委員会
- 4月9日・16日：農林役員会
- 4月10日：農民の健康を創る会議連(4)
- 4月11日：食品ロス削減・食品寄附促進PT
- 4月12日・17日：総合農林政策調査会、農林部会・林政対策委員会合同会議



▲4月10日自民党・農民の健康を創る会

全国・農政連推薦

参議院議員山田としおの

農政問題に斬り込む

米づくりの評価と国への

これからの米政策と地域における取り組みについて考えてみたいと思います。私の持論ですが、「わが国の米づくりの崩壊は日本をつぶすことになると確信しています。」

どうも、多くの稲作農家の不満は、米価等による収入が十分でない、かつての比較においても、皆、規模拡大や「コスト低減に努力しているにも関わらず、人手の確保や、機械投資等の経費や、忙しい働き甲斐と比較して、相対的に収益が出ていない」というものです。これでは、米づくりの魅力が失われ、情熱や熱意は低下し、将来の希望も希薄になってしまいます。

こうした実態を、もっといねいに分析し、真に主食たる米の安定供給と、収益と、そして誇りを持った農業者をつくり上げるといふ農業づくり、地域づくり、国づくりが求められます。しっかりとした収益の確保と誇りを得られるという状況をつくりあげていかなければなりません。

改めて、国をあげて、米づくりの重要性を訴え、国を支えていること、地域を支えていること、そして、国民の主食を安定供給していること、等々をしつかり、国政の基本に位置付け直すことをこころ行くべきなのかもしれません。

そうしなければ、米づくりは崩れ、ふるさとと壊れ、海外から安い米が入り、農業者の誇りも消えて、それこそ、「日本の主食たる米は、日本人からも評価されない形のものになってしまいます。」

まさに、アジア・モンスーンにあつて、雨も多く、山がちであるという条件のなかでも、日本の風土に合ひ、国づくりの基礎としてつくりあげられてきた、主食たる「米づくり」の意義を、そして、「生産・流通消費」の仕組みと、生産者の努力を活かした米政策の展開と、国民の合意をきちんと大切にしていける取り組みこそが大切なのです。

「水田」を失ったとき、日本の国土は崩壊してしまいます。このことを踏まえた、米づくり、農地の利用、国民の主食たる米の意義を再認識してもらえぬ農業政策を展開しようではありませんか。



▲無電柱化小委員会視察

JA熊本市女性部活動報告

第32回 JA熊本市 女性大会・家の光大会

JA熊本市女性部は、2月7日、市民会館シアーズホーム夢ホールで「第32回女性大会・家の光大会」を開催しました。女性部部長、ハイミセス会員、フレッシュミズ会員など約400人が参加。支部代表の体験発表や講演、各支部による踊りや歌が披露され、大会をより一層盛り上げました。

支部代表者による組織活動発表では、これまで支部で行ってきた活動を発表し、家の光記事活用発表では、家の光を活用した活動報告を行いました。

講演は熊本放送局の木村和也アナウンサーを招き、「再起可能！言葉でつながる心の絆」と題し、参加者に楽しいひと時を届けてくれました。



▲JA熊本市女性大会・家の光大会



▲「おもてなし隊」結成



▲大西熊本市長が激励にこられる

完走したランナーにおもてなし 熊本城マラソン

2月18日に開催された熊本城マラソンで熊本市食生活改善推進員協議会と共に「おもてなし隊」を結成し、お味噌汁8000食を振る舞いました。

女性部よりボランティアとして36名が参加し、ゴール地点で完走したランナー

に手作り味噌汁を提供しました。地域貢献活動の一環として毎年協力しています。

JA熊本市役職員と 女性部支部長の対話集会

1月10日、JA熊本市本店でJA役職員との対話集会を開きました。女性部支部長、JA役職員ら34人が参加。女性部が活動しやすい環境づくりと更なる発展のための要望や意見を伝え、意見交換をしました。

意見や要望は事前に支部ごとに取りまとめたもの。JAの各部門ごとに質問や要望が出され、担当の役職員らが説明しました。

支店や事業所利用に関する要望、一般向けのPR周知の徹底など、幅広い要望や質問が出されました。

牛嶋部長は「とても実のある会になった。顔を合わせ、女性部の想いを口にして伝えることは、とても良い機会だと改めて思った。」と話しました。



▲実のある対話集会となりました

子ども食堂支援

平成29年度より継続している種から栽培した野菜を提供する子ども食堂への支援も徐々に知っていたたく機会が増え、女性部が管理する畑で収穫した玉ねぎなどの農作物提供に加え、女性部員からの食材提供もありました。

支援活動のみならず、寄付活動等、女性部としての長年の活動が認められ、令和4年度の農林水産大臣賞受賞に続き、令和5年度(第62回)農林水産祭にて、女性の活躍が素晴らしい個人・団体に贈られる多角化経営部門で、日本農林漁業振興会会長賞を受賞しました。

今後も女性部目線で、地域の方々や子どもたちのために活動を行っていきます。

農林水産祭で日本農林漁業振興会会長賞を受賞



玉ねぎの苗植え



「くまにちすぱいす30周年感謝祭」へ 特別協賛 JAグループ熊本

JAグループ熊本は、3月23日

〜24日にグランメッセ熊本（益城町）で行われた「くまにちすぱいす30周年感謝祭」へ特別協賛しました。

ブースでは、食と農業の現状を伝えるパネルを設置し「国消国産」への理解の呼びかけや、県内JA・連合会の9団体が農畜産物・加工品などの販売を行いました。

23日はJA青壮年部による「ふるまい餅つき」が行われ、石本勝也委員長をはじめとする県農協青壮年部協議会役員らが餅つきを美演しました。MCの村上美香さんにじゃんけんを勝った子どもら約10名に餅つき体験をしてもらいました。

らいました。

24日のステージイベントでは、タレントのスザンヌさんとJAかもとファーマーズマーケット夢大地館の田上依男店長が国消国産についてトークショーを行いました。田上店長は「食を取り巻く実態に関心を持ってほしい。日本の食と農業、SDGsの実現に向けて、国消国産に取り組むことが必要」と話し、スザンヌさんは「地元のものを食べると元気になる。国産や地元産を選ぶことは難しいことではないので意識していきたい」と生産者にエールを送りました。



▶ JAグループ熊本ブースの様子



▶ JA青壮年部による「ふるまい餅つき」の様子



▶ トークショーを行うスザンヌさん(左)、田上店長(右)、まよやんさん

JA経済連

令和6年産新茶初入札会を開催 最高価格は過去最高値1キロあたり8万円

JA熊本経済連は4月19日、益城町の同連茶入札場で令和6年産一番茶の初入札会を開きました。県内の4つのJAから出品された86点、2,512・5キロの新茶を、新たに1社を迎えた指定茶商18社が色や味、香りを確かめ入札しました。1キロあたりの最高価格は過去最高値となる8万円で、山村孝行さん（JAくま）が出荷した「さえみどり」でした。平均単価は3,540円となりました。

品質なお茶の生産を期待したい」と話しました。県内においては、「さえみどり」「さえみどり」といった早生品種から摘採が開始され、生育が順調に進めば、連休前に各地で最盛期を迎える見込みです。同連での令和6年産茶の取扱数量は580トン、取扱金額は約5億6,000万円を計画しています。

熊本県経済連茶生産流通協議会専門部会の菅野隆一部会長は「生産環境が厳しい中に生産者が日々精進し、今年も良いお茶を届けることができた」と新茶の入札に大きな期待を込めました。参加した茶商は「今年は暖冬の影響もあり全国的には良い品質のお茶が少ない中、熊本県産の出来は上々、今後高



▲出品された令和6年産新茶



▲茶の感触や香り、色などを確かめる茶商ら



JAの自動車共済 お見積りキャンペーン実施中!!

現在、JA共済では熊本県限定で「自動車共済 お見積りキャンペーン」を実施中です。
JAの自動車共済にご加入の方
も、ご加入でない方も、キャンペーン中のこの機会にJAの自動車共済のお見積りをされてみませんか？

- 【応募期間】
第1期…令和6年4月1日～令和6年6月30日
第2期…令和6年7月1日～令和6年9月30日
第3期…令和6年10月1日～令和6年12月31日
第4期…令和7年1月1日～令和7年3月6日

お見積りされた方の中から、抽選で各期25名様（年間合計100名様）に、「アイリスオーヤマクッキングケトル」をプレゼント！このクッキングケトル一つで、湯沸かしも鍋料理もできます。5つの自動メニューを搭載し、調理が手軽にお楽しみいただけます。さらに、Wチャンス賞として「真空ステンレス缶ホルダー」を各期500名様（年間合計2,000名様）にご用意しています。

また、お見積りをされた方には、もれなく「仁くん杏ちゃんクルマ用ポリ袋」をプレゼントします！

現在、第1期のご応募を受付中です。お見積りの際には、現在ご加入されている自動車の保障内容が分かるもの、運転免許証、車検証をご準備下さい。

詳しくは、お近くのJA窓口までお気軽にお尋ねください！

熊本県下で総計2,100名様に当たる!!

A賞 アイリスオーヤマクッキングケトル

100名様(各期25名)



Wチャンス賞

はずれた方にもWチャンス キャンプス 真空ステンレス缶ホルダー

3色からおひとつ ※色はお選びいただけません。

2,000名様(各期500名)

お見積りをしていたいただいた方にもれなくプレゼント



仁くん杏ちゃん オリジナルクルマ用ポリ袋(15P)

※なくなり次第終了となります。

JA厚生連

「腰痛にひびく」

腰痛は、様々な原因によって起こる腰部の痛みを総称で、多くの方が日常生活で「腰痛」を感じたことがあることでしょう。ここでは、腰痛の原因や予防、解消法について説明いたします。

【腰痛の原因】

腰痛の約10%は、腰部脊柱管狭窄や椎間板ヘルニアなど腰の神経に障害がある場合に起こりますが、腰痛の約8割は「非特異的腰痛」と呼ばれ、画像検査では原因を特定することができません。

この「非特異的腰痛」は様々な状況で発生する可能性があり、原因として、

- ①長時間の同じ姿勢
 - ②運動不足
 - ③筋肉の緊張
 - ④内臓疾患
 - ⑤ストレス
- の5項目が挙げられています。

【腰痛の予防】

腰痛を予防するにはまず、正しい姿勢を保つことが大切です。これにより腰への負担を軽減できます。

座る際には背筋を伸ばし、足を床にしっかりと着けるよう意識し、長時間同じ姿勢で作業をする場合は適度に休憩を挟みつつ、その際には腰も休めましょう。

また、腰の筋肉を鍛えることも腰痛

の予防に繋がりますので、運動前には腰の筋肉を柔らかくするためのストレッチを十分に行い、その後ウォーキングや水泳などの運動をお勧めします。

さらに、近年はストレスが社会問題となっており、ストレスは脳機能に様々な影響を及ぼし、その結果、血行不良により腰痛を引き起こすこともあります。

【最後に】

新型コロナウイルスの影響で、テレワークの増加により腰痛を訴える方が増加しています。

姿勢の悪さや運動不足を解消するとともに、ストレスをため込まないよう定期的な休息で心身ともにリラックスするよう心がけましょう。

また、内臓の疾患などで腰痛を引き起こすこともありますので、定期的に健康診断を受診し、自らの健康状態を把握することで腰痛を未然に防ぎましょう。



農業の
あんなことやこんなこと



歌にしてお届け

♪ KAB 熊本朝日放送にて ♪
毎週金曜 夜 7:54~放送中



家族を乗せて
走るから、安心は
三つ星を選ぶ。



もしものときの、頼れる保障。



JAの自動車共済クルマスターなら、
充実した保障とサービスを
ムダなくお得に備えられます。

くらしの保障、相談するなら



※ご加入にあたりましては、お近くのJAへお問い合わせください。
■JA共済ホームページアドレス <https://www.ja-kyosai.or.jp>

24481050096

納豆には血栓を予防する「ナットウキナーゼ」や更年期症状を緩和する「大豆イソフラボン」、脂質の代謝を助ける「サポニン」など多くの栄養成分を含んでいます。TVでも度々紹介されていますが、一時期はキムチを混ぜて食べるとか、パンに納豆とチーズを乗せて焼いて食べるなど反響の大きい食べ物です。熊本では、老舗のラーメン店が「熊本納豆ラーメン」を出していますし、馬肉を食する県としては、桜納豆「も有さです」よね。食卓に上がる納豆は3個百円とかの低価格を思い浮かべますが、1個何百円もする納豆が売れているのも事実のようです。納豆特有のにおい、ねばねば感が苦手だという人もいますが、国民の8割以上が食べている納豆。熊本には「納豆」に関するものもあります。

健康食品の代表であり、手軽に食べられて栄養価の高い食べ物と言えは、納豆ではないでしょうか。タンパク質と言えは、肉という答えが返ってきますが、日本では大豆がタンパク質の代名詞でした。現在は、納豆の発酵パワーが体にいいと言われています。

「夕刻の大將軍に臨む」



撮影：高柳 創志 様

第12回 未来に伝えたい農業・農村の風景
フォトコンテスト入選作品

あ
と
が
き

発行／熊本県農業者政治連盟

熊本市中区南十反畑町2-3 電話096-333-0600-12884
編集責任者／中村 隆宏
●発行日／令和6年5月15日(毎月1回15日発行)
●定価／一部50円(但し、会員の購読料は会費の中に含む)